

3月定例会

陸別町議会3月定例会は、3月9日から16日まで、5日間開かれました。今定例会では、令和2年度補正予算案6件、条例案13件、その他6件、令和3年度当初予算案7件を可決し、閉会しました。

7月1日から新たな公共交通がスタート!! ★デマンド型乗合タクシーは町内全域で運行★

6月30日でコミュニティバスと 高齢者等交通費助成事業は終了へ

当初予算質疑から

○地域内交通対策事業

1千500万円

Q デマンド型乗合タクシー用として、乗車定員の多いワゴン車タイプを導入することはできないか。

A 事業の委託先において、ジャンボタクシーと呼ばれる車両を導入する計画もある。

Q 診療所から薬局までの運賃は免除となるが、どのような運行方法がとられるのか。

A 診療所から薬局までの運行についても予約で運行する。ある程度の人数が揃ってから運行する等の効率的な方法を検討していきたい。

Q 町外から来町された方もデマンドタクシーを利用することは可能か。

A 観光等を目的に来町された町外者も、町内に限って利用することはできる。

Q 事前予約とは、従来の電話連絡でよいのか。また、一人でも乗車することは可能か。

A 今までどおり電話で予約をするが、予約した時間に一人しかいなかった場合は、一人でも乗車はできる。

デマンド型乗合タクシー運行事業とは？

不特定多数の利用者が一つの車両に一緒に乗る形態で、利用者が個々に1回の乗車につき一定の運賃を支払うもの。

陸別町においては、令和3年7月1日から開始される予定で、運行区域は、町内全域（市街地、農村地区）となり、1人につき1回200円で乗車ができる。ただし、診療所受診後の薬局までの運賃は無料。

デマンド型乗合タクシー運行事業の開始に伴い、6月30日をもって現在実施している、コミュニティバス、高齢者等交通費助成は終了となる。

なお、運行に係る詳細については、町内回覧等において周知される予定。



令和3年度 予算総額 64億3,870万円

— 対前年度比 0.04%増の計上 —

◀ 百恋駅まで体験乗車



○りくべつ鉄道施設建設工事 2千768万円

Q 鉄道体験で更なる集客を図る新たな事業展開の計画はあるのか。

A 今年の4月から分線まで距離を延長し、5・7kmのコースが運転ができるように、メニューを増やして運行する。



○建物解体工事 891万円

Q 町に寄付された、旧鹿野水産店舗等を解体撤去した後の活用方法は決まっているのか。

A 平成27年に寄付を受けた時には、福祉施設等に利用したいと考えていたが、今後、改めて町民ニーズも確認しながら検討していきたい。



▶ 解体が決まった
大通の旧鹿野水産店舗等

○地域おこし協力隊報酬 1千774万円

Q 高齢で後継者のいない商店の事業継承を目的に、地域おこし協力隊を募集してはどうか。

A これまで検討したことはないが、将来的に商工会等とも協議、相談しながら必要であれば検討しなければならない。

○緊急雇用対策事業 1千574万円

Q 令和2年度における緊急雇用対策事業の雇用人数と作業内容は。

A 3月までに、実68名の方が町道などの支障木伐採、側溝整備、公共施設などの塗装や軽微な修繕、グラウンド整備などを行った。

○高齢者在宅生活支援事業 352万円

Q 高齢者在宅生活支援事業の予算が昨年より減額されている理由は何か。

A 生きがいホーム通所事業はこれまで、ふれ

あいの郷で月、水、金の週3回行ってきたが、水曜日の利用者が著しく少ないことから、月、金の週2回にしたことにより減額となった。



▶ 生きがいホームで健康体操

○地域子育て支援事業 550万円

Q 子育て親子広場を新年度から社会福祉協議会に委託することだが、今までと同じような内容で続けるのか。また、一時預かり事業等の予定はないか。

当初予算質疑

A 子育て親子広場の運営時間を延長して、5時間行う。過去に社会福祉協議会で、一時預かり事業等を運営してきたが、体制が整わなくなったという理由から、現在は行われていない。



▶ 時間延長された「おやのひろば」
(4/9撮影)

Q 産後ケア事業 69万円
産後のお母さんを対象とした、産後ケアの具体的内容は。

A 産後1年未満の子どもとお母さんを対象に、授乳方法や体調及び育児不安など、1人最大5回まで助産師が自宅に訪問してく

れる。また、北見市内の助産院でも、相談することもでき、1回当たりの自己負担は600円になる。



○保育所改修

2千728万円

Q 保育所を改修して、1歳時保育を開始するのはいつ頃を予定しているのか。

A 令和4年度からの開始を目標に、低年齢児保育を始めたいと考えている。



▶ 2歳児保育

○塵芥収集等業務

5千24万円

Q 委託料は、毎年人件費や燃料費等の値上げにより増加傾向にあるが、今年度は逆に減額となった理由は何か。



新しく入った
塵芥収集車で作業中

A 令和元年度からごみを帯広まで運んでおり、2年間の実績と、新しい塵芥収集車が入ったこともあり、減価償却等の減少割合が大きい。なお、人件費の賃金単価は、昨年より数%値上げしている。

○プレミアム商品券発行事業

810万円

Q プレミアム商品券をより多くの町民に利用してもらうために、販売方法の協議はしているのか。

A 現在、商工会からは平年並みの20%の要望がきているが、町民に幅広く利用してもらうために、販売の時期やプレミアム率などについて、随時商工会と協議検討したい。



▶ 昨年4月のプレミアム商品券販売は、密を避けて実施

当初予算質疑



○ドローンの活用と緊急車両の出動状況

Q 陸別消防署で購入したドローンの活用状況と、現在までの緊急車両の出動件数は。



昨年5月の山火事をドローンを使って撮影

A 平成29年6月に捜索や災害等に使用する目的でドローンを購入した。

令和2年5月の林野火災の時に、ドローンを使って上空から火災場所を特定するためを使用している。

緊急車両は、昨年1月から12月の間で、114件出動し、前年と比較して15件減少している。

○公民館運営等委託業務

642万円

Q 令和2年度から始まった図書館司書の勤務体制と活用方法は。

A これまでは、週1回午後からの勤務であったが、令和3年度からは、週2回午後からの勤務のほか、社会教育指導員を兼務してもらう。



▲ 図書館司書による読み聞かせ

学校と公民館が連携し、推薦図書を購入や利活用方法など、図書室の活性化を図っていききたいと考えている。

Q 小中一貫教育推進委員会交付金 180万円
令和3年度で3年目の現状と今後の取り組みは。

A 令和元年度から陸別町教育研究所において、小中一貫教育の研究を行い、令和2年度では、各教科ごとの9か年間のスケジューリングが一目で分かる一覧表を作成することができた。

令和3年度以降は、作成した一覧表を活用しながら、小中一貫教育を更に進めていきたい。

令和3年度 各会計当初予算額

会計名	総額	前年度比	
一般会計	49億4,542万円	99.5%	
特別会計	国保事業勘定	4億3,703万円	106.8%
	国保直診勘定	3億4,149万円	97.8%
	簡易水道事業	2億 837万円	113.9%
	公共下水道事業	1億3,848万円	91.1%
	介護保険事業勘定	3億1,708万円	107.7%
	後期高齢者医療	5,081万円	101.7%

新年度予算の主な事業

○ **保育所改修事業 2,728万円（新規）**
〔1歳児保育に向けて保育室改修〕

○ **ふるさと交流センター改修事業 1,925万円（新規）**
〔暖房用設備改修〕

○ **消防施設整備事業 499万円（新規）**
〔消防庁舎ボイラー室機器更新〕



○ **町道路整備事業 新町7号通り 3,842万円（新規）**
〔新町交流館の建替えに伴い、敷地の一部を利用して、幅員12.5m（両側に2.5mの歩道、車道7.5m）の道路を新設〕

▲ 新町2区の道路新設予定地

○ **新型コロナウイルスワクチン接種事業 1,786万円（新規）**
〔新型コロナウイルス感染症のまん延予防のため、該当する住民1人2回の接種〕

○ **介護職員等資格取得事業 167万円（継続）**

〔①介護職員初任者研修 ②対象となる資格を取得または研修を修了した町民に対し補助金を交付 補助率は経費の3分の1、上限は10万円（町内の介護事業所に勤務する等の条件があります）〕

○ **庁舎改修事業 8,406万円（継続）**

〔非常用自家発電機及びタウンホールのエアコン設置、屋上防水改修など〕

○ **移住定住促進住宅建設等補助事業 1,400万円（継続）**

〔①住宅新築 ②建築後3年以内の中古住宅購入 ③住宅改修（リフォーム）に対し補助金を交付（補助金の最高限度額は①200万円～400万円 ②200万円 ③50万円 詳細な条件、基準については役場総務課におたずねください）〕

* 施工業者は、原則、町内に本店を置く事業者であることが条件となります。

* 10年未満で町外に転居した場合は年数に応じて補助金の返還義務が生じます。

○ **冬季生活支援事業 200万円（継続）**

〔町民税非課税世帯など、対象世帯1世帯に1万円の商品券を支給〕

○ **出産祝い金事業 470万円（継続）**

〔第1子20万円～第4子以降100万円まで、交付要件に該当する方に祝い金を贈呈〕

○ **プレミアム商品券発行 810万円（継続）**

〔年2回実施、プレミア率は20%〕

○ **修学旅行費に対する助成 小学校19万円／中学校45万円（継続）**

〔小学校は1人あたり1万円 中学校は1人あたり3万円を助成する〕

○ **給食費無料化 保育所199万円／小学校488万円／中学校329万円（継続）**

〔保育所は食材費を公費負担 小・中学校は給食費を全額補助〕

一般質問

3月定例会では3人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

福祉、介護サービス事業の提供体制は

三輪隼平 議員

問

医療・介護・住まい・生活支援・介護予防を柱とする、地域包括ケアシステムの深化、推進に向けて、町は介護保険の保険者

及び支援費の支給決定者の立場において、町内事業者へどのように先導していくのか。

また、町内福祉施設の老朽化に伴い、サー



▶ 今後建て替えが予定されている「しらかば苑」

町長 町として事業者との取り組みを強化していきたい。特に、人材確保対策については、裾野を広げるための研修を実施し、人材を確保

問 新年度から実施するワーケーションモニターの取り組みについて、その対象者の業種等、当町の何を最大の魅力としてモニターを募ろうと考えているのか。また、移住交流を促進するには、メディア等の活用や企業へのアプローチも必要ではないか。

移住定住対策にワーケーションを

するとともに、高齢者の住まいと、介護保険制度との連携強化に繋げていきたい。現在、特別養護老人ホームの老朽化にもなう建て替え計画があり、今後、数年後に実施される予定にある。当町の中間施設未整備の問題については、事業主体である法人等と連携、情報共有を行いながら取り組んでいく。福祉施設の再編については、町が主導することはないが、事業者から協議や相談があれば随時対応していきたい。

まとめ辞典
ワーケーションとは…「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語。時間や場所にとらわれずに、観光地等で休暇を楽しみながら仕事をすると新しい働き方をいう。

町長 ワーケーションモニターを通して、リモートワークの可能性を掘り起こすために実施する。モニターからは、生活環境や通信環境等の課題についての助言や評価をしてもらい、リモートワークの可能性と環境の向上につなげていきたい。また、陸別町東京事務所を通して、首都圏所在の企業等にモニターの募集を行い、当町の観光資源である、りくべつ鉄道、銀河の森天文台等を中心にアピールし、メディア等も活用しながら、移住定住への促進を図っていききたいと思っている。

ここが聞きたい



町有林拡大事業の目的を伺う

久保 広幸 議員



問 当町が町有林拡大事業を施策に掲げ、これに取り組む目的を伺う。

町長 町有林拡大事業については平成25年度に開始しており、現在までに購入13件、約192ha、寄付の受け入れが4件、約14ha、合計206haを取得している。

本事業は、森林の適正な管理による荒廃の防止、また、無立木地の解消、長期的展望での森林事業体の事業量確保を目的としている。

新たな森林経営管理制度の取り組み

問 新たな森林経営管理制度については2年ほど前にも伺っているが、現時点においてもその取り組みの基本姿勢に変わりがないか伺う。

町長 森林経営管理法が令和元年度に制定され、整備が行き届いていない森林を調査し、所有者の確認や今後の経営管理について意向の確認を行い、森林所有者自らが経営管理をできない場合に町が委託を受け、整備を進めようとするものである。

当町は、既に意向調査を実施済みで、今後は連絡の取れなかつた森林所有者の追跡調査を行う予定であるが、新たな森林経営管理制度による森林整備は考えていない。今までどおり森林経営計画に入っており森林として、防災上やむを得ない場合など、必要な時に検討することとしている。



生産性向上特別措置法に基づく固定資産税の軽減について

生産性向上特別措置

問 法に基づく固定資産税課税標準額の特例制度については平成30年6月の施行で、中小企業が機械や設備の更新に当たって、固定資産税を3年間、市町村の判断で全額減額できるものであるが、町内中小企業者の現在までの認定状況を伺う。

町長 この制度は令和元年度から適用になっていて、令和3年3月末までの制度ということで、生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画の認定数は11件、そのうち町内の企業は9件である。また、軽減措置の適用件数と軽減額については、令和元年度が1社1設備で5万8千900円、令和2年度が4社50円、令和3年度が8社10設備で57万9千200円の軽減、このうち新規は3社4設備で54万2千円である。令和3年度が8社10設備で

112万1千100円の軽減、このうち新規は5社5設備で72万4千500円である。

問 先端設備等導入計画の認定を受けた中小企業が、計画に該当する事業の用に供する家屋及び構築物を今年度末までに取得した場合、新たに固定資産税が課されることとなった年度から3年間、全額を減額する特例制度が新設されているが、太陽光発電設備を先端設備等導入計画の対象事業にするか、または、現行の当町の我が町特例による減額割合を引き上げる考えはあるか。

町長 国の認定要件を満たしているれば太陽光発電設備についても認定となる。我が町特例については、今のところ考えていない。



町民が安心して暮らせるための

福祉対策を問う

谷 郁司 議員

問 特別養護老人ホーム
しらかば苑の建て替え
計画において、要介護1又
は2の方が利用することが
出来る施設の併設と、財政
支援を行う考えはあるか。

町長 要介護1又は2の方
が利用することができ
る中間施設については、現
在、北勝光生会と法的な制
約も含めて協議を行ってい
る。財政支援に関しては、
その都度議会と相談しなが
ら取り組んでいきたい。

問 一人暮らしの高齢者
宅への緊急通報装置を
全世帯に完備する考えと、
見守り態勢は怎么样了な
るのか。

町長 緊急通報装置は、本
人や家族からの申請に
基づき、対象者に設置して
いる。見守りについては、
社協や民間事業者等と連携

を取りながら対応をしてい
る。

問 精神・発達・高次脳
機能障がい等や、ひき
こもりの状態にある方への
支援はどのように行ってい
るのか。

町長 障害者手帳等で一定
数の把握はできている
が、ひきこもりは、家族や
関係者からの通報及び相談
が無ければ把握は困難であ
る。相談支援体制は、社協
のつくへつ生活安心センター
「まきエール」が担っている。

また、令和3年度末まで
に、ひきこもりの相談窓口
の明確化等を行い、各関係
機関と協議しながら進めて
いきたい。

問 福祉施設に従事する
介護職員が資格を取得
することは、事業所には有
益なことであるため、資格

取得の補助制度をもっと宣
伝すべきではないか。

町長 今後3年間介護職員
初任者研修を開催し、
研修修了者が介護実務期間
3年を経過すれば、介護福
祉士の受験資格を取得する
ことができるので、よりス
キルアップするために、資
格取得の補助制度を活用し
ていきたい。

問 都市部で生活してい
る高齢者の方々に、陸
別町に移り住んでもらい、
その後、医療、介護が必要
となったときに、継続的な
ケアが受けられる地域づく
りを進めていく考えはない
か。

町長 陸別町第6期総合計
画、第2期人口ビジョ
ン総合戦略に基づき、移住
定住対策、高齢者支援の充
実に努め、高齢者が住み慣
れた地域で安心して暮らせ
るために、生活環境整備を
進めていきたい。

問 国民健康保険税では、
子どもの数に応じて均
等割が賦課されている。し

かし、社会保険（協会健保）
には賦課されないのは不公
平である。よって、18歳ま
での子どもの均等割に対し
て、町が軽減対策をとるべ
きではないか。

町長 平成30年7月の全国
知事会で国に対して軽
減制度の要望を行っている。
今後は、国、道の動きを探
りながら、前向きに検討し
ていきたい。

問 合同墓の設置に関す
る過去の答弁では、町
民からの要望が無いため設
置しないとのことであった。
しかし、今年度の自治会長
会議において、設置に関す
る要望があることから取り
組む考えはないか。

町長 今年度の自治会長会
議において、共同納骨
堂の要望があり、近年その
設置の必要性も感じている。
令和3年度に近隣町村の設
置状況や運営方法を調査
し、設置の可否について検
討していきたい。



町村別改定後の保険料
(単位：円)

市町村名	介護保険料
帯広市	5,890
音更町	5,300
士幌町	6,100
上士幌町	5,300
鹿追町	6,200
新得町	6,200
清水町	5,700
芽室町	6,300
中札内村	5,000
更別村	5,700
大樹町	5,800
広尾町	4,400
幕別町	5,700
池田町	5,186
豊頃町	4,815
本別町	6,280
足寄町	5,750
陸別町	5,700
浦幌町	5,400

介護保険料 5,700円 に決定



令和3年度から3年間の介護保険料が確定しました。平成30年度の改定時には保険料が増額(800円増)となりましたが、今回の改定では、前回と同額の5千700円となりました。実際の保険料は、所得に応じて9段階に区分され、減額または増額されません。

補正予算質疑

○家畜糞尿共同処理施設整備事業

△1千943万円

○現在建設が進められている、バイオガスプラント工事に関して、参加農家とサポーター農家の軒数及び進捗状況はどうなっているのか。

○参加農家は14軒、サポーター農家は8軒である。進捗状況は、外構工事の2年目が終了し、後2年間の工事期間が必要となる。また、貯留槽は、令和2年度から工事を開始し、11月に3基が竣工している。本体工事は、現在、設計

予算の試算中であり、4月以降に入札が行われる予定で、工事完了後の令和4年の夏から秋にかけて試験運転を行い、その後、特に問題がなければ、本格稼働する予定となっている。

○畜産・酪農収益力強化整備事業

2億5千410万円



▲近代化が進む陸別町の酪農

○畜産・酪農収益力強化整備事業(クラスタ事業)は、北海道からの補助で、町を経由して本人に支払われるものではないが、現在の当町の搾乳農家戸数と、今後のクラスタ事業

についてどのように見ているのか。

○搾乳農家戸数は、12月現在で40戸であり、これ以降のクラスタ事業の実施について把握はしていない。しかし、年々農家戸数が減少していることもあり、一戸一戸の農家を大切にし、農協及び各関係機関と協力しながら、当町の農家を守ることに努めていきたいと考えている。

令和2年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	4億4,695万円	59億3,496万円	
特別会計	国保事業勘定	3,151万円	4億6,648万円
	国保直診施設勘定	△808万円	3億4,396万円
	簡易水道事業	△207万円	1億7,916万円
	公共下水道事業	△471万円	1億3,258万円
	介護保険事業勘定	△687万円	3億4,465万円

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 陸別町立陸別小学校における授業中の事故（損害賠償）に係る和解について	可決
● 陸別町議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町公の施設に係る指定管理者の指定について	可決
● 町道路線の廃止について	可決
● 町道路線の認定について	可決
● 第8期陸別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について	可決
● 第1期陸別町障がい者基本計画・第6期陸別町障がい福祉計画・第2期陸別町障がい児福祉計画について	可決
● 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町障害者地域生活支援事業条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町地域包括支援センター設置条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町指定介護予防支援事業者の指定の要件並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町介護保険条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町福祉住宅条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町新農業人育成に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町有害鳥獣駆除条例の一部を改正する条例	可決

議会の動き

28日	【1月】	総務常任委員会
4日	【2月】	第1回臨時議会
10日		総務常任委員会
24日	【3月】	議員協議会
5日		議会運営委員会
9日		3月定例会
		総務常任委員会
		産業常任委員会
		議員協議会

第1回臨時会

令和3年2月4日に、第1回臨時会が開かれ、令和2年度補正予算案2件を可決しました。

令和2年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	2,615万円	54億8,800万円
国保直診勘定	206万円	3億5,205万円

10日	3月定例会
11日	3月定例会
12日	3月定例会
16日	3月定例会

議員協議会

議会運営委員会

(広報編集会議)

【4月】
20日 議会運営委員会
(広報編集会議)

次回の定例会は6月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合せ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。



陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>